

国総研資料第 1330 号 「維持管理に着目した既存港湾施設の 3 次元モデルの 要件設定及び簡易作成手法」を刊行します

新設の港湾施設で導入が進められている BIM/CIM は、維持管理においても有用な技術ですが、既存港湾施設の 3 次元モデルの作成は余り実施されていません。

本研究は、直杭式横棧橋を事例として、維持管理に着目した既存港湾施設の 3 次元モデルの要件を検討・提案しました。さらに、経済的に 3 次元モデルを作成するため、維持管理計画書や一般定期点検診断結果等の既存資料を用いて、パラメトリックモデリングにより 3 次元モデルを簡易に作成する手法を開発しました。

<目次>

- 第 1 章 はじめに
- 第 2 章 既存港湾施設の 3 次元モデルの要件設定
- 第 3 章 パラメトリックモデリングによる 3 次元モデルの簡易作成手法の開発
- 第 4 章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先 URL : <https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1330.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター 港湾業務情報化研究室

室長 辰巳 大介 (内線 : 3350)

TEL : 046-844-5019 E-mail : ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp